

関係法令等
○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領 ○岐阜県教育委員会の基本方針

目指す学校像
○基礎学力の向上に努める努力をし、社会の一員としての自覚と社会の中での自己実現が可能となるよう支援できる学校。 ○基本的生活習慣の確立と規範意識を高める指導のできる学校。 ○自らの健康と安全に配慮し、他者も含め命の大切さを学べる学校。

学校の教育目標
高校生活のあらゆる場面において、ひたむきに自己の可能性を追求できる、視野の広い、心豊かな青年を育成する。

目指す生徒像
1 一人一人の文武両立を目指し、知・徳・体の調和のとれた生徒 2 進取の気概にみち、克己心に富む生徒 3 自己教育力を高め、自己実現を目指す生徒 4 自ら目標を立て、最後までやり抜く姿勢を保つ生徒 5 豊かな情操と人間性に富んだ生徒 6 人とのつながりを大切にし、コミュニケーション能力や協調性をもった生徒

生徒の実態
進学を志望する生徒がほとんどで、真面目で、学習・高校生活・進路に対して極めて前向きである。反面、具体的な進路観・進路目標については漠然としている。

保護者・地域の期待
地域の中に根差した伝統校であり、地域からの注目は高い。保護者は本校の教育について深い理解を示し、信頼が厚いと感じる。

目指す教師像
○基礎学力充実のための指導計画の作成とその実施をする。 ○生徒一人一人の理解に努め、職業観・進路意識の高揚のために時をとらえた指導をする。 ○規範意識と社会への貢献についての意識を高める声かけを心がける。

キャリア教育の全体目標			
生徒一人一人が自己を見つめ社会や時代の変化を理解するとともに、各自のキャリアについて様々な情報を操作しつつ他者との対話をとおして、自ら考え、設計・選択・検証・決定し、その過程で生じる課題に取り組む意欲や能力を育みつつ「自己効力感」や「自己有用感」を高める。			
教育活動を通して育成したい能力や態度			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
ホームルームや授業での話し合い活動などを通じて、相互理解を図るとともに、協同で物事に取り組む意識・態度を養う。	社会人や先輩との交流や大学見学などの啓発的な体験を通じて、自己の適性を知り、主体的に行動し、自ら進んで学ぼうとする力を育成する。	授業、ホームルーム、ゼミ学習、課題研究などでの発表、討論を通じて、課題の本質を理解し、その課題を解決することができる力を育成する。	「自己効力感」や「自己有用感」を高め、大学等での学びの選択・検証や大学等卒業後の人生設計において主体的に考え行動する力を養う。

各教科・科目の目標
国語 伝統的な言語文化の享受と生徒自らの多様な言語活動を通じて、相手の言葉を正しく理解し自分の考えを分かりやすく伝える力を養うとともに、論理的な思考力と生き生きとした想像力を高める。
地理 地理、歴史に対する関心を高め、年表、グラフ、史料等から情報を読み取り、論理的なスキルから自分の考えを持つ能力を養うとともに主体的かつ大局的な見地からの視点を身につける。
公民 政治経済などの現在の社会的な枠組みを知りその理論的背景を学ぶとともに、新聞・統計などの活用の仕方を身につけ、現代社会における主体的な生き方を探求する。
数学 与えられた情報を数量化し、客観視した上で合理的な判断が出来る能力を身につける。論理的に物事を考え、それを他人に対して分かりやすく提示する能力を身につける。
理科 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を身につける。
保体 生涯にわたってスポーツライフを継続する資質や能力を養い、健康の保持増進と、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身につける。
芸術 芸術の幅広い活動をとおして、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。
外国語 言語学習を通して、他国の文化や多様な考え方や生き方を学ぶことにより、自分が生きる社会や世界にも目を向け、他者との積極的な交流を通して自分の貢献できる道を模索する。
家庭 継続して生涯を見通して生活を考える力や展望する力を身に付けるために生活理論と実験・実習を通して生活の実践力や言語活動の充実を図り、問題解決能力や意思決定能力を高める。
情報 社会のしくみを理解し、その中に自分がいる姿を思い描きつつ日々進化する情報化に対応できる能力と態度を身につける。

各学年の重点目標
第1学年 自己自律 ○高校生という自覚を持ち、自律することにより基本的生活習慣を確立する。 ○将来を見据えて、今あるべき姿を考えることにより、学習習慣を確立する。 ○高校生活を送る中で、自分の生き方、集団での役割に関する考えを深める。
第2学年 自己理解 ○学習、学校行事、部活動等に積極的に取り組む中で、自己の責任を自覚しつつ、自己の可能性を追求する。 ○自己理解を深め、具体的な進路を考え検証することで自己の将来像の確立に努める。
第3学年 自己実現 ○最終学年としての自覚と責任をもち、具体的な進路目標の達成を目指して積極的に努力する。 ○自己の興味や関心、適性、能力などを大切にしながら、様々な可能性に挑戦して、自己実現に努める。

教務部	生徒一人一人に存在感・達成感を持たせる授業を研究・実践していく。基礎的・基本的知識・技能の習得を図るとともに、実践力、応用力に繋げ、自ら主体的に学習に取り組む姿勢・態度を育む。
生徒指導部	社会的自立に向け、全ての教育活動をとおして一人一人の人格を尊重して個性の伸長を図り、努力を継続できる誠実さとコミュニケーション能力を磨き、自己教育力を高める。
進路指導部	生徒が自己及び他者への理解を深め、「自己効力感」や「自己有用感」を促進・保持しながら、自らの在り方や生き方を考え、主体的な進路選択・検証・決定ができるよう「キャリア発達」を支援する。
特別活動部	生徒一人一人が積極的に活動に参加し、成功体験を持つことで達成感を味わい、自己実現を図るとともに、礼節を大切にし、「文武両立」を主眼とした指導により、自己管理能力の育成を目指す。
保健厚生部	命を守る訓練・救急救命講習を通して、事故・災害等の危機管理と、健康被害防止の徹底を図るとともに、自己の健康に関心を持ち、自分で管理できる能力を育成する。

図書視聴覚部	読書や芸術鑑賞、調べ学習等を通じて、高い文化的教養を身につけるとともに、正しく理解し、分かりやすく表現するコミュニケーション能力の育成に努め、豊かな人間関係と課題対応に関わる将来のキャリア形成能力の向上に資する役割を果たす。
渉外部	育友会進路委員会として企画・活動する。保護者大学見学会において親の立場から様々な職種につながる学科を見学し親子の話し合いの機会をつくる。また、PTフォーラム時の講師に進路関係の方をお願いし、保護者のスキルを高めていく。
自然科学	自然科学・科学技術が社会の中でどのような意義を持ち、どう役立っていくのかを認識させるとともに、将来、エンジニアや研究者、理科教員など理系分野の人材育成を目指す。

総合的な学習の時間	生徒一人一人が進学先の調査や自らの学びの探求をする中で、テキストや他者との対話をとおして、自分らしい生き方を探求し、進路選択・進路実現の充実を図ることができるように支援する。
特別活動	○学校生活充実や改善向上を図る活動により活動の重要性を理解させ、自己肯定感や自己有用感を育む。 ○学校行事等との連携を図りながら、社会の中での自己に目に向け、具体的・現実的な進路を考えさせる。 ○主体的な活動を通して集団生活での役割を自覚させ、社会性や自己を生かす能力や態度を育成する。
その他の活動	○部活動を通して、好ましい人間関係の醸成と他人を思う気持ちを育てるとともに、体力の向上、自律・協調、奉仕の精神を育て、そこで培ったものが進路実現や将来に役に立つように指導する。

評価方法	○授業評価 ○生徒・保護者・卒業生対象調査 ○進路結果、模擬試験結果 ○PDCAによるチェック
------	--